

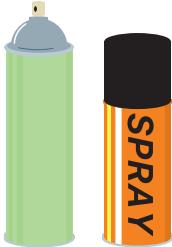
車両火災を防ぐポイント

① 日常の注意

- 車内に火災の原因となるものを放置しないようにしましょう



▶ ライター・オイル



▶ スプレー缶



高温下で破裂・発火するおそれがあります

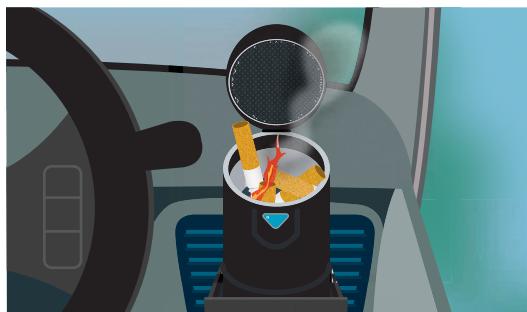
ペットボトル・芳香剤・
透明な吸盤など

レンズの働きをして火災につながるおそれがあります



モバイルバッテリー・電動工具・
電子たばこ等のリチウムイオン
蓄電池を含む製品

- 喫煙時は灰皿を使用し、
喫煙後は確実に火を消しましょう



- カーステレオ・スイッチ等の
電装品に飲み物をこぼしたり、
ぬらさないようにしましょう



- 冠水した道は走らないように
しましょう
浸水した場合は、速やかに点検を
受けましょう



- 不適切な改造は
行わないように
しましょう
電装品の取り付けは
専門業者に依頼
しましょう



- 車両等のボディカバーには
防炎製品を使用しましょう

防炎製品
(燃えにくいもの)



✓ 日頃からの対策

- 車両は定期点検・日常点検を確実に実施しましょう

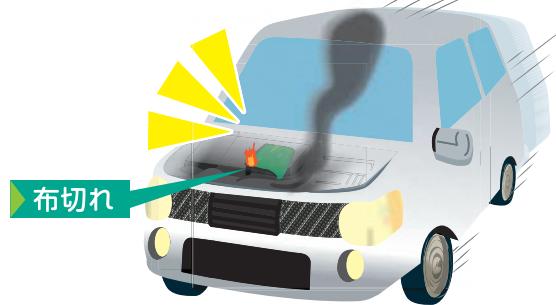


エンジンオイル・冷却水は定期的に点検し、補充しましょう



エンジンオイル・フィルタは定期的に交換しましょう

- 点検・整備の際、布切れなどの燃えやすいものをエンジンルームに置き忘れないようにしましょう



▶ 布切れ

- 異常を感じたら速やかに専門家による点検整備を受けましょう



- リコール情報を確認し、リコール対象の車両は速やかに整備を受けましょう



重要なお知らせ
ご愛車のリコールのご案内

必く述べください
●●●●●自動車販売店 TEL:00-0000 XXXXXXXXXX-XXXXXXX-XXXXXXX FAU:00-0000-0000

✓ 車両火災にあつたら・遭遇したら

- 万が一に備えて、車両火災時の対応を確認しておきましょう

1 走行中なら

- ハザードランプを点滅させて周囲の車両に異常を知らせましょう



- 可能な範囲で、安全な場所に車を停車しましょう



2 停車中なら

- 周囲の人に火災発生を知らせましょう



3 119番しましょう

119番しましょう



4 身の安全を確保し、可能な範囲で初期消火を行いましょう

身の安全を確保し、可能な範囲で初期消火を行いましょう



5 安全な場所に避難しましょう

安全な場所に避難しましょう

